

### 財政部報告

財政部長 島田 義治



#### 1. 平成17年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画にしたがって執行することができました。
- (2) 道へき・複連の会費については、当初予算より学校数納入額および教員数納入額が減少しましたが、ほぼ予算案通りに執行しております。
- (3) 全へき連会計については、各地区へき・複連のご努力により「へき地教員」の多くの方にご協力いただきました。納入された負担金の中で全へき連へ納めました。
- (4) 刊行物の購読促進については、全へき連発行の「新しい時代を拓く心の教育シリーズⅢ」、を中心に取り組みました。各地区へき・複連においては、へき地教育の振興の趣旨をご理解いただき購入に努力下さいましたことに感謝いたします。また、北海道教育史の学校教育編「へき地教育」の抜刷を加盟校に配布し、活用を図ってきました。  
尚、過年度発行の各刊行物もまだ残部がありますので、購読希望があればご連絡下さい。

(5) 運営資金会計は、学校数の減少により、納入人員も減少傾向にありましたが、各地区へき・複連のご理解・ご努力により多くの校長先生・教頭先生にご協力いただきました。全へき連へは納入された金額の中で納めました。

#### 2. 平成18年度の予算編成について

- (1) 来年度も市町村合併や統廃合など、厳しい情勢の変化が予想されます。予算編成の基礎資料として、3月末に各地区へき・複連の加入校数・教員数を調査し、収入額を把握し、立案します。
- (2) 養護教諭・事務職員の納入、更に未加入校の加盟を促します。
- (3) 平成18年度の一般会計については、前年度決算を参考に予算編成し執行します。
- (4) 旅費規定は、現在の規定に基づいて執行します。
- (5) 全へき連会計は、納入される負担金の範囲内で執行します。各地区へき・複連においては、引き続きへき地教員の納入拡大に努力していただきたい。
- (6) 刊行物会計については、平成18年度も全へき連の発行が予想されます。各地区へき・複連においては購読促進の努力をお願いしたい。

### 平成17年度 一般会計執行状況

平成18年1月24日現在

#### 【収入の部】

費目	17年度予算	1/24決算	増・減(▽)
会費	5,319,180	5,177,735	▽141,445
繰越金	275,058	275,058	0
繰入金	350,000	350,000	0
雑収入	62	0	▽ 62
合計	5,944,300	5,802,793	▽141,507

#### 【支出の部】

費目	17年度予算	1/24決算	増(△)減
研究大会費	510,000	510,000	0
研究調査費	2,410,000	2,009,444	400,556
研成刊行費	700,000	598,720	101,280
事務局費	2,324,300	1,499,020	825,500
合計	5,944,300	4,617,184	1,327,116

◇学校数 442校      ◇教員数 2,365名  
 【差引残高(1/24現在)】5,802,793円-4,617,184円=1,185,609円

◆教育条件整備については、3学級4定員、教頭の無配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱える諸課題に、全へき連、道へき・複連OB会とも連携しながら、関係機関に要請して参りました。

今年度は、道財政運営の健全化のための給与適正化に係るへき地級地算定要素の見直し(エキノコックス症の配点の廃止)の動きが急浮上し、大きな問題となりました。

道へき・複連としては、付加点の廃止により全道で300校ほどが影響を受けるものとの予想に立ち、緊急に全道の状況を集約し、情報収集に努めるとともに、道小とも連携を強め、関係機関への働きかけを行いました。その後、この件について、道教委給与課による4種校長会、及び、道へき・複連への説明会が開催され、配点廃止の理由が明らかとなり、それらの状況等について各地区へおろしたところです。

級別指定(今回は平成14年1月1日実施)について、次期見直しは、平成20年の予定ですが、基準点数や付加点数の新たな見直しがあるのか、非常に不透明な状況になってきていることから、情報収集に努め、国・道教委・道議会等の動きを注視していく必要があるとおさえています。

◆研究推進、組織確立、財政上の諸課題につきましては、今年度も組織検討委員会を設置し、検討をお願い致しました。

#### 3. 情報関係活動経過報告(概要)

- 5月10日 定期総会で「全へき新聞」原稿執筆について提示
- 6月17日 「道へき・複連情報」送付先・送付部数集約
- 24日 「道へき・複連情報」123号発行
- 27日 「全へき新聞」執筆者氏名報告集約
- 7月12日 「全へき新聞」原稿執筆依頼書、返信用封筒を各地区担当者へ送付
- 7月19日 「全へき新聞」原稿執筆者一覧表を全へき連事務局へ送付

- 9月1日 道へき・複連ホームページ内容更新
- 11月25日 「道へき・複連情報」124号発行
- 30日 道へき・複連ホームページ内容更新
- 3月1日 「道へき・複連情報」125号発行
- 3日 道へき・複連ホームページ内容更新

#### 4. 情報関係業務報告

##### (1)情報関係

組織改革に伴い、事務局が「道へき・複連情報」(123、124、125号)を3回発行し、広報活動に努めました。123号では第54回全道へき地複式教育研究大会後志大会を特集し、全体会及び各分科会の研究成果と課題等について情報提供することができました。また、第55回全道へき地複式教育研究大会根室プレ大会についても、研究主題や分科会会場についても知らせることができました。あらためて後志及び根室のへき・複連の情報提供と原稿執筆にお礼と感謝を申し上げます。

道へき・複連ホームページの内容更新は、北海道教育大学へき地教育研究センターの協力を得て行い、前年度の「道へき・複連情報」122号から125号まで掲載しました。

各地区へき・複連事務局の皆様には、ご多用の中、情報提供、加盟校への種々の連絡や配付等にご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。

〈各号の主な内容〉

##### 【123号】

- ・平成17年度道へき・複連「定期総会」特集

##### 【124号】

- ・第54回全道へき地複式教育研究大会後志大会特集
- ・第55回全道へき地複式教育研究大会根室プレ大会

##### 【125号】

- ・平成17年度道へき・複連活動報告特集